



索引図

防災マップには、さまざまな自然災害の情報や、指定避難所等の防災関連施設を記載しています。地震や津波、大雨に備えて浸水や被害が想定されている場所や状況を確認しましょう。

地図で示している危険箇所以外でも災害が起きる危険性がありますので、日ごろから地域の危険箇所を把握し、いざというときには早めの避難を心がけてください。

洪水・土砂災害・津波防災マップについて

土砂災害(特別)警戒区域

福岡県が令和5年10月6日までに指定している「土石流」「急傾斜地の崩壊」「地すべり」の土砂災害(特別)警戒区域を地図上に示しています。

洪水浸水想定区域

想定し得る最大規模の降雨によって河川がはん濫した場合の浸水範囲と浸水深を示したものです。

浸水継続時間

西郷川の想定しうる最大規模の降雨による浸水継続時間は12時間未満です。

対象となる河川	前提となる降雨	県公表年月日
西郷川水系西郷川	12時間の総雨量 925mm	平成31年3月29日
西郷川水系大内川、本木川	12時間の総雨量 925mm	令和3年 5月31日
手光今川水系手光今川	24時間の総雨量 1,103mm	令和4年 5月27日
釣川水系八並川	6時間の総雨量 543mm	平成30年4月27日

家屋倒壊等氾濫想定区域

洪水浸水想定区域の中でも、早期に確実な立ち退き避難が必要な区域です。

● 洪水氾濫

堤防の決壊等により河川がはん濫した場合に、木造家屋の流出や倒壊を生じるような強い水の流れが発生するおそれがある区域です。

● 河岸侵食

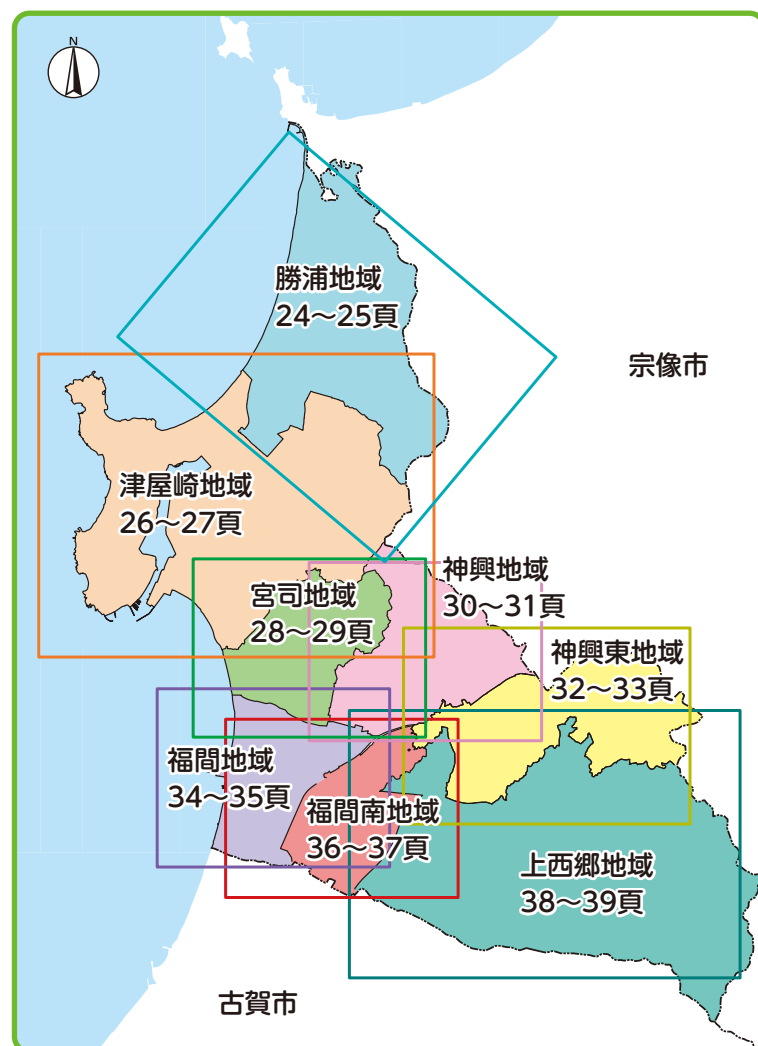
強い河川の流れにより河岸が侵食され、木造・非木造家屋の倒壊が発生するおそれがある区域です。

津波災害警戒区域 (平成30年3月福岡県公表)

津波災害警戒区域は、最大クラスの津波が発生した場合に、住民等の生命・身体に危害が生ずる恐れがあり、津波災害を防止するために「警戒避難体制を特に整備すべき区域」を地図上に示しています。

高潮浸水想定区域 (平成30年3月福岡県公表)

高潮浸水想定区域は、最大クラスの台風により高潮が発生した場合に想定される浸水範囲と浸水深を示したものです。高潮浸水想定区域の作成にあたっては、最悪の事態を想定し、既往最大規模の台風(1934年室戸台風、1959年伊勢湾台風など)を基本に、複数の台風のコースを設定してシミュレーションを行い、10m四方の各地点で一番浸水の深い数値を示しています。



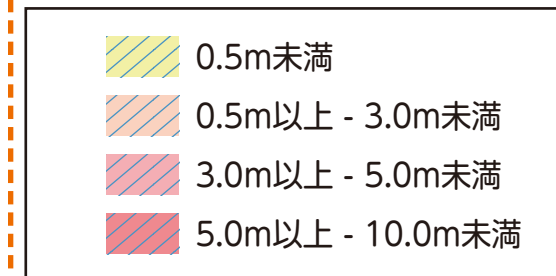
防災マップの見方

土砂災害の危険がある場所

急傾斜地	土石流	地すべり
 傾斜度30°以上で高さ5m以上の急傾斜地を抽出しています。	 渓床勾配が3°以上(火山砂防地域では2°)の渓流を抽出しています。	 地形図や過去の災害履歴などから判断して地すべりが発生する可能性があり、人家や河川などに被害を生ずるおそれのあるところを抽出しています。

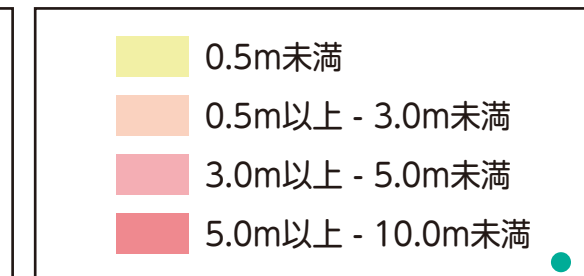
洪水浸水想定区域

河川のはん濫で浸水した場合に想定される水深



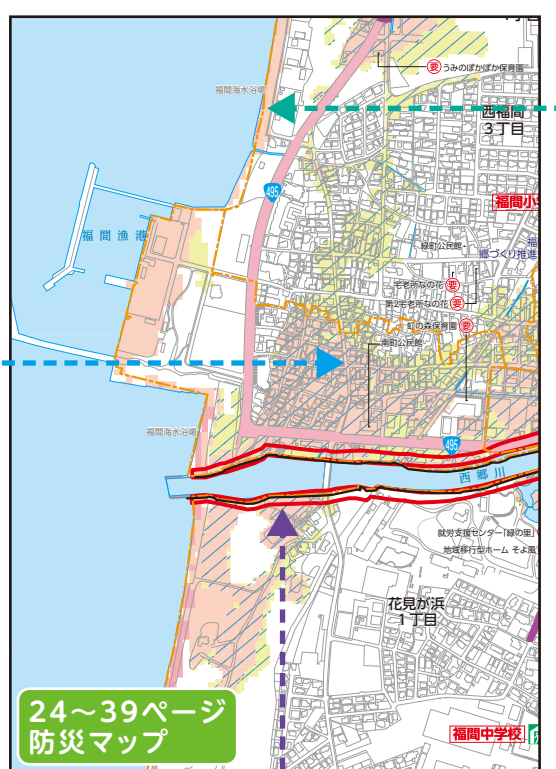
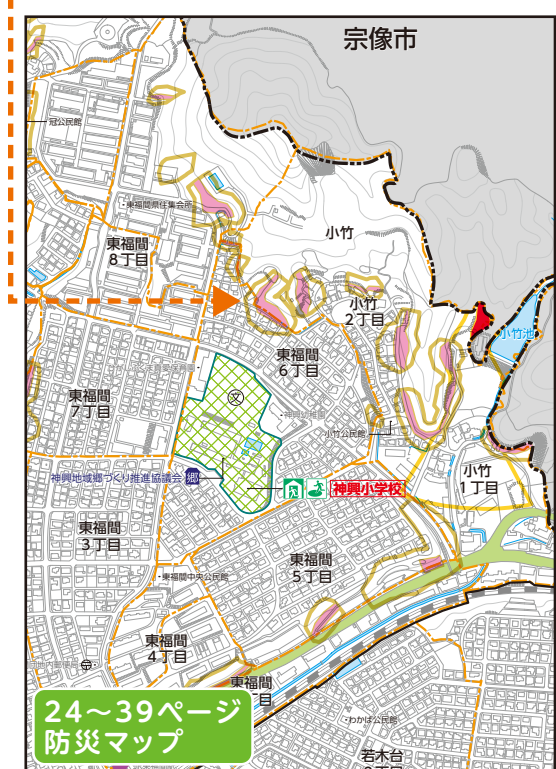
津波災害警戒区域

津波が建造物などに衝突した場合に想定される水位



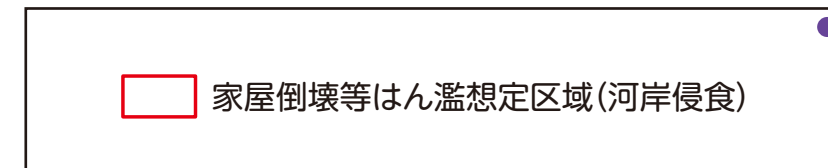
主要凡例

- 指定一般避難所
- 指定緊急避難場所
- 広域避難場所
- 指定福祉避難所
- 災害危険区域の要配慮者利用施設
- 郷づくり協議会事務所
- 過去の道路冠水箇所
※過去に道路が冠水した主な位置を示したものです。
- アンダーパス
- 都市公園



家屋倒壊等はん濫想定区域(河岸侵食)

河川の激しい流れにより、河岸が削られ、家屋の倒壊や流出するおそれがあるため、立ち退き避難が特に必要な区域



高潮浸水想定区域

高潮で浸水した場合に想定される水深

